





# 留年せずに4年間で卒業を

## 不動産学部が成績チエックを実施

「うちの子どもはちゃんと勉強しているのか」「留年せずに4年間で卒業できるのか」親の立場としてはたいへん心配なことである。今年度、不動産学部では、前回終了後、先生方が1年生、3年生の成績をチェック。このままだと進級が危ういという学生をピックアップして、保護者に警告の通知を出すという試みをしている。地区懇談会での父母の要望がきっかけとなつたそうだが、不動産学部の小泉允園学部長に話を伺つた。

本学では、年度末に成績表が、各学生の自宅に郵送される。しかし、親が見ていかなかったり、見方がわからず、これで進級できるのか、どうかわからない場合もある。教育後援会が開催している地区懇談会では、成績表を見ながら、先生と面談を行うが、そこで始めて、子どもが進級できていないと気づく父母も多い。

また、学生自身がきちんと成績を把握していない場合もあり、就職が決まりにもかかわらず、1単位足らなくて卒業できないといふようなケースも見られる。「学生の自己責任で学習計画を立て、きちんと履修していくのが本来の姿だと思う。しかし、それができない学生もいる」と小泉学部長。先生は、「現状を

保護者に知らせることで、家庭内で話し合うきっかけを作り、なんとか成績を立て直して、4年間で卒業してもらいたい」と、「魅力ある大学づくり委員会」など、救済措置が取れた例もあるそうだ。「現状をお知らせするだけでなく、アフ

ト、履修の補正を出すなど、業務スタッフとの協力体制を整える必要がある」と話していた。ぜひ、全学部に広げていただきよう、お願ひしたい。

## イベント満載だった第11回明海祭

(祝)まで、浦安キャンパスで第11回明海祭が開かれました。主催は学友会学園祭実行委員会(吉澤隆委員長)で、今回のテーマは「お祭り爆弾3連発」。オープニングセレモニーから本学までのパレード。吹奏楽部の演奏やチアリーダーの演技のあと、参加団体による仮装行列で、にぎやかに幕を開けた。

学内では、人気お笑いグループT・I・Mが出演。外語大学4年)は、「友達と一緒に向けて番組「できるかな」のノッポさんでおじみの高見映氏の講演会を共催。会場となった2206教室にはたくさんの人が訪れ、ノッポさんのユニークなトークを楽しんだ。

そのほか、グラウンドに設けられたメインステージ

は、恒例となった新浦安駅から本学までのパレード。吹奏楽部の演奏やチアリーダーの演技のあと、参加団体による仮装行列で、にぎやかに幕を開けた。

外語大学4年)は、「友達と一緒に向けて番組「できるかな」のノッポさんでおじみの高見映氏の講演会を共催。会場となった2206教室にはたくさんの人が訪れ、ノッポさんのユニークなトークを楽しんだ。

そのほか、グラウンドに設けられたメインステージ

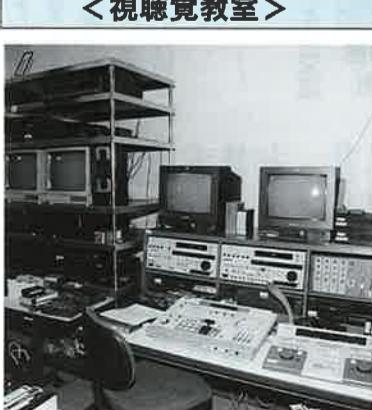
## 就職ネットワーク開設

地区懇談会のアンケートからも、30%以上の父母が「就職は地元で」とお答えいただいております。そこで皆様方がお住まいの地域に優良企業がございましたら、就職指導課までご連絡下さい。この不況の世の中、1つでも多くの進路先を学生に提供したいと思います。ぜひ、ご協力をお願いいたします。

### 就職指導課

電話 047-355-5118

## Campus watching 情報社会に即してニーズは増加傾向 <視聴覚教室>



「Lし教室」も、カセットなどの音声教材を使って語学を学ぶだけでなく、大型スクリーンやモニターにビデオ、LDの映像を映したり、パソコンの画面をつなぐなど、マルチメディアに対応できる。教材用のソフトだけでなく、映画や手作りの映像資料を使えるので、語学の授業だけではなく、幅広く利用されている。最近は、各教室でワイヤレスマイクを使い、携帯電話を持つ学生が増えたため、英検・TOEFLなど検定試験の紹介や申込書の映画上映会を毎月開催している。

一般的の学生対象にした

世はまさに高度情報化時代。大学の教室にもハイテクが装備され、マルチメディアを使った講義が行われている。本学にも「AV講義室」(2室)、「Lし教室」(5室)、「大講義室」(2室)の各教室に視聴覚設備があり、様々な授業に活用されている。

講義室は、教壇の黒板がスイッチひとつで巨大な200インチのモニターに早変わりし、OHC(オーバーヘッドカメラ)で読みとった資料が、高密度画像で大きく映し出される。また、後ろの席の学生にも先生のV機器を装備している大学スカ在住の冒險家・舟津圭三さんの講演会など、内容の濃いイベントが続いた。教育後援会は、NHKの幼児向け番組「できるかな」のノッポさんでおじみの高見映氏の講演会を共催。会場となった2206教室にはたくさんの人が訪れ、ノッポさんのユニークなトークを楽しんだ。

そのほか、グラウンドに設けられたメインステージ

たとえば、500人収容できる大講義室(2206)は、教壇の黒板がスイッチひとつで巨大な200インチのモニターに早変わりし、OHC(オーバーヘッドカメラ)で読みとった資料が、高密度画像で大きく映し出される。また、後ろの席の学生にも先生のV機器を装備している大学スカ在住の冒險家・舟津圭三さんの講演会など、内容の濃いイベントが続いた。

教育後援会は、NHKの幼児向け番組「できるかな」のノッポさんでおじみの高見映氏の講演会を共催。会場となった2206教室にはたくさんの人が訪れ、ノッポさんのユニークなトークを楽しんだ。

そのほか、グラウンドに設けられたメインステージ

たとえば、500人収容できる大講義室(2206)は、教壇の黒板がスイッチひとつで巨大な200インチのモニターに早変わりし、OHC(オーバーヘッドカメラ)で読みとった資料が、高密度画像で大きく映し出される。また、後ろの席の学生にも先生のV機器を装備している大学スカ在住の冒險家・舟津圭三さんの講演会など、内容の濃いイベントが続いた。

教育後援会は、NHKの幼児向け番組「できるかな」のノッポさんでおじみの高見映氏の講演会を共催。会場となった2206教室にはたくさんの人が訪れ、ノッポさんのユニークなトークを楽しんだ。

そのほか、グラウンドに設けられたメインステージ

たとえば、500人収容できる大講義室(2206)は、教壇の黒板がスイッチひとつで巨大な200インチのモニターに早変わりし、OHC(オーバーヘッドカメラ)で読みとった資料が、高密度画像で大きく映し出される。また、後ろの席の学生にも先生のV機器を装備している大学スカ在住の冒險家・舟津圭三さんの講演会など、内容の濃いイベントが続いた。

教育後援会は、NHKの幼児向け番組「できるかな」のノッポさんでおじみの高見映氏の講演会を共催。会場となった2206教室にはたくさんの人が訪れ、ノッポさんのユニークなトークを楽しんだ。

そのほか、グラウンドに設けられたメインステージ

たとえば、500人収容できる大講義室(2206)は、教壇の黒板がスイッチひとつで巨大な200インチのモニターに早変わりし、OHC(オーバーヘッドカメラ)で読みとった資料が、高密度画像で大きく映し出される。また、後ろの席の学生にも先生のV機器を装備している大学スカ在住の冒險家・舟津圭三さんの講演会など、内容の濃いイベントが続いた。

教育後援会は、NHKの幼児向け番組「できるかな」のノッポさんでおじみの高見映氏の講演会を共催。会場となった2206教室にはたくさんの人が訪れ、ノッポさんのユニークなトークを楽しんだ。

そのほか、グラウンドに設けられたemainstage

たとえば、500人収容できる大講義室(2206)は、教壇の黒板がスイッチひとつで巨大な200インチのモニター





就  
職

## 求人倍率ダウンで厳しい就職環境

### 採用活動の早期化で、準備不足の学生も

「昨年、昨年と大学生の求人倍率が上向き、就職環境に明るい兆しが見えてきたのも束の間、今年は一転して1・25倍と大幅ダウン。「氷河期」から「雪解け」へ向かっていた就職戦線も、今年は「大雪崩」と形容されるほど。暗い情報ばかりが飛び交うが、今年の就職状況はどうだったか、学生への指導はどう行われているのか、就職指導課の横田政之課長に話を伺った。

昨年度の大卒者の就職率は戦後最低の65・5%。卒業後、就職も進学もしない、いわゆる無業者が87000人もいたそうだ。そんな中で、本学の98年3月卒業生の就職率は92・7%。文部省・労働省の調査による私大生の就職内定率91・8%と比べると、ほぼ

平均値をキープしたという状況だった。今年度についてはまだ集計ができるないが、証券、北海道拓殖銀行など

の金融機関や大企業が相次いで倒産し、ロシア、アジア諸国の経済の混迷が続いている状況から、企業の採用意欲がさらに低下してい

る」と見られる。日本経済新聞の調査によると、各企業の新卒採用数は前年度の7

年比6%減、大卒者は同じく4・4%減という数字が出

ており、今年度の就職環境は厳しい状況に逆戻りしている。

ただし、本学への求人社割(昨年は1割)で、3月

に見えてみると、11月20日

に見えてみると、11月20日

に見えてみると、11月20日

に見えてみると、11月20日

### 就職協定廃止の影響は「早期化」「長期化」「多様化」

度は3月31日までで、24社だったのに、最終的には昨年並みになるのでは

ないだろうか。

の時点で2284社。昨年

には過半数の54%の学生が

企業訪問を経験した。

企業の方も、2月の上旬から徐々に会社説明会をス

タートして、3月中旬と4月上旬がピークとなつた。

3月末までは、50%以上の企業が説明会を開いてい

る。面接・試験は4月中旬開始が最も多く、次いで5月上旬となつてある。来年度はさらに2、3週間早まるのではないかといわれ

が、就職環境に大きな影響が出ている。その一つは就職活動の「早期化」だ。前

年に比べて、全体のスケジュールが1ヶ月ほど前倒しになつてている。

今年の4年生は、すでに3年時の12月から1月にかけて資料の請求を開始して

おり、1月の時点で48%

の学生が資料請求をしてい

る。企業訪問も、2月で2割(昨年は1割)で、3月

に見えてみると、11月20日

に見えてみると、11月20日